

第2講 東南アジアの物語

2-1 インドネシア ←オランダによる支配

- 16世紀末からオランダはジャワ島へ進出
 - 1623 アンボイナ事件
- 3度にわたる英蘭戦争→オランダが奢侈品交易から植民地経営へ転換
 - ジャワを拠点にオランダ領東インドを形成
- 18c末 ナポレオン戦争→オランダ東インド会社解散・ジャワ島をイギリスに奪われる
 - ウィーン会議でジャワ島の支配を回復
 - 1824 英蘭協定→英蘭の勢力圏確定
- 1830年代 ジャワ戦争（ジャワ島のイスラーム諸侯の反乱）
 - オランダが鎮圧
 - ファン＝デン＝ボスの強制栽培制度：コーヒー・サトウキビ・藍の栽培
- アチェー戦争で 20c 初めにアチェー王国を滅ぼし支配下に

2-2 マレー半島

- イギリスがペナン島・マラッカ（1824）・シンガポール(1819)領有
 - 1826 海峡植民地とする
 - 1895 マレー連合州（マライ連邦）
- 錫鉱山の開発(マレー人・華僑) ゴムの栽培(印僑の流入)
 - 複合社会の形成

2-3 ビルマ

- 当時アラウンパヤー朝（コンバウン朝）
 - タイのアユタヤ王国を滅ぼしインドにも進出
 - 東南アジア進出も目指すイギリスと衝突
- 3度にわたるビルマ戦争 1824-85
 - アラウンパヤー朝滅亡 1885
- インド帝国に併合される 1886

2-4 ベトナム・ラオス・カンボジア

当時ベトナムは阮朝の支配：阮福暎がピニョーの援助で建国 1802-

- 1858-62 仏越戦争
 - サイゴン条約(1862) コーチシナ東部割譲
- 1863 カンボジア保護国化
- 1867 コーチシナ西部獲得

- 1883 ユエ条約 →1884-85 清仏戦争 →1885 天津条約 阮朝保護国化
- 1887 フランス領インドシナ形成 (インドシナ連邦)
- 1893 ラオス保護国化 →1899 連邦編入

2-5 フィリピン

- 16c 末 スペインの植民地化
→ルソン島はアカプルコ貿易の中継地
→18c 後半～ マニラ麻・サトウキビのプランテーション
- スペインが南方へ拡大→ムスリム勢力の抵抗
- スペインは政教一致→住民へのカトリックの強制

2-6 タイ

- 当時バンコク朝 1782-
- ラーマ4世：ボウリング条約 1855
- ラーマ5世：チャクリ改革
- 英仏の緩衝国家として独立を維持しました。